

デンマークのあるウィンドファーム建設地に対する、反対派の発生と拡散 における Facebook グループの役割

Kristian Borsh

デンマークの風力発電に抗議する73のページおよびグループの作成から2016年1月のデータ収集時点の11,278件の投稿と5,772件のコメントを含むFacebook上の文言を解析した。

コード化した引用文(1084件)

1. 騒音と低周波音	404
2. プロセスの公平性	386
3. 景観のアイデンティティ	272
4. 健康面への配慮	254
5. 常識的議論	204
6. 環境影響評価(EIA)	186
7. 経済的補償	164
8. 信用	160
9. 道徳、倫理、共感	158
10. 土地への愛着	135
11. マクロ経済的影響	131
12. 提案される解決策	109
13. 便益	89
14. 光と影のちらつき	73
15. 家畜福祉	38
16. 安全性	30
17. ミクロ経済的影響	21
18. その他	17
19. プロジェクトへの支援	16

引用文に含まれる懸念事項
の分布

戦略的なコミュニケーションの場として、ソーシャルメディアはどれほど強力であるか。



- ソーシャルメディアは、普及率とアクセス容易性から、風力タービン設置などへの反対意見を戦略的に表明できる強力なコミュニケーションツールである。
- 現地の風車設置反対派は、開発を延期させるだけでなく、コミュニティの目標としての設置阻止のために、ソーシャルメディアを非常に効果的に利用している。
- 現地の風力発電反対派は、必ずしも風力発電に反対しているわけではなく、関連する地域社会の正当な問題に関心を持っている。

意義

- ・Facebook は、アクターが戦略的な自己主張のために動的に使用できる「共鳴の空間」である。
- ・手続き上の懸念に関し当局が沈黙していると、何かが間違っていることの証拠と見なされる。
- ・陰謀に関する集団的思考を防ぐためにも、現地の運営当局がソーシャルメディアを取り入れることは非常に重要である。
- ・ソーシャルメディアは、計画の初期段階から住民を対話に参加させることができる強力なツールとなる。
- ・ソーシャルメディア上でのオープンな議論を恐れてはならない。むしろ、交渉により次のような合意に達することができる良い機会として受け止めるべきである。
 - 公共の精神を引き出す
 - 協力的な住民活動
 - 革新的な再生可能エネルギーソリューションの発見

問い合わせ: kristianb@plan.aau.dk;

本翻訳書は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)「風力発電等技術研究開発/風力発電高度実用化研究開発/風車運用高度化技術研究開発」事業の一環として、IEA Wind 国内委員会の承認のもと作成されたものです。翻訳監修:名古屋大学 丸山康司 教授